

鳥取県埋蔵文化財センター 出前講演の御案内

地域の遺跡や歴史を学ぶお手伝いをします。

「地元の遺跡や歴史について学びたい！」けれど講師を誰にしよう？
そんな時には、当センターの「出前講演」を御利用ください。

👉 皆様の企画や希望に合った講演や現地案内に
当センターの専門職員を講師として派遣します。

いつ？

平日だけでなく、土・日曜日・祝日開催の場合も御相談に応じます。

どこで？

皆様のところに出かけていきます。

- ・会場は、申し込みされる皆様で御準備ください。
※埋蔵文化財センターの施設を御利用いただくことも可能です。
- ・公民館など公的な機関が主催して開催するものだけでなく、私的な学習会として開催される場合にも対応可能です。(最少聴講人数は概ね10人から)

何を？

- ・遺跡など (例) 弥生時代の建物、古墳時代の様相 など
 - ・遺物など (例) 倭人の骨占い、弥生時代の石器 など
 - ・その他 (例) 鳥取の年中行事 など
- ※詳しくは、裏面の「出前講演」テーマ(演題)一覧をご覧ください。
(一覧にない講演内容や体験活動についても御相談に応じます。)



公民館での講演会

費用は？

- ・講師への謝金は不要です。(講師の会場への旅費については、御相談に応じます。)
- ・会場の使用料が必要な場合は申し込みされる皆様で御負担ください。

お申し込み方法 事前に電話やメール等で御相談のうえ、別紙の「出前講演申込書」でお申し込みください。

【問合せ先】鳥取県埋蔵文化財センター (〒680-0151 鳥取市国府町宮下 1260)
電話 0857-27-6711 ファクシミリ 0857-27-6712
メールアドレス maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

※出前講演についての詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/75585.htm#itemid75585>



令和8年度「出前講演」テーマ（演題）一覧

別紙

番号	テーマ(演題)	概要	担当職員	時代等
	鳥取いにしへの木の文化	鳥取県は、青谷上寺地遺跡や鳥取西道路の発掘調査で10万点を超える木製品が良好な状態で出土しています。縄文時代から江戸時代までの、多種多様な木製品の用途や特徴、製作技術、さらには自然環境との関係まで、いにしへの世から現代まで続く鳥取の木の文化について解説します。	下江	縄文時代～近世
	山陰の弥生時代の始まりについて	鳥取県は、青谷上寺地遺跡や鳥取西道路の発掘調査で10万点を超える木製品が良好な状態で出土しています。縄文時代から江戸時代までの、多種多様な木製品の用途や特徴、製作技術、さらには自然環境との関係まで、いにしへの世から現代まで続く鳥取の木の文化について解説します。	下江	縄文～弥生時代
	弥生時代の家について	弥生時代には様々な形の家がありましたが、終わり頃には隅の丸い四角い形に統一されていきます。こうした形の変化と建物の上屋構造の変化の関係について、焼けた堅穴住居を素材として紹介します。	馬路	弥生時代
	倭人の骨占い	魏志倭人伝に倭人は「骨を焼いて吉凶を占った」と記されています。倭人たちは何を不安に思い、何を期待して占いを行ったのでしょうか。占いに使われた骨を卜骨（ぼっこつ）といいますが、日本最多の卜骨が出土した青谷上寺地遺跡の倭人たちのマジカルな世界を紹介します。	北浦	弥生時代
	弥生時代の石器について	弥生時代は石器が主要な利器として使われた最後の時代です。弥生時代の石器の種類や用途についてや、石器の石材の流通から分かる地域間の交流について、鳥取県内の遺跡を例にお話します。	北	弥生時代
	砂に埋もれた大集落 ～長瀬高浜遺跡の紹介～	弥生時代から中世までの幅広い時代の遺構が見つかる県中部の長瀬高浜遺跡。多数の建物跡、大量な土器、貴重な銅鏡、石器などが出土した長瀬高浜遺跡について紹介します。	中山	弥生時代
	国史跡妻木晩田遺跡の魅力 ～交流と人々の繋がり～	全国最大級の大きさを誇る国史跡妻木晩田遺跡、その大きさだけでなく、大量の鉄器の出土、玉づくりの痕跡、そして、そこから見えてくる人々の交流など魅力満載の妻木晩田遺跡を紹介します。	中山	弥生時代
	淀江潟と東郷池周辺の弥生時代から古墳時代の集落	鳥取県にはたくさんの潟湖が存在したことがわかっていますが、その中から淀江潟と東郷池周辺の弥生時代から古墳時代の遺跡を取り上げて、集落の様子や社会のあり方について、両地域を比較しながら紹介します。	馬路	弥生～古墳時代
	湖山池南岸の大集落～松原田中遺跡の調査成果から～	湖山池南岸に位置する松原田中遺跡は多種多様な遺物が出土し、弥生中期、古墳時代前期、古墳時代後期にいずれも拠点的功能を持つと考えられる集落が存在していました。発掘調査の成果から、この遺跡の持つ特徴についてお話します。	陶澤	弥生～古墳時代
	古墳時代の始まりを探る	県内最大にして最古級の前方後方墳、古海36号墳の発掘調査成果を紹介し、あわせて鳥取県ではどのように古墳が造られ始めたのか、古墳時代開始期の様相についてお話します。	北	古墳時代
	古代・中世の食事の話 ～グルメな古代・中世の人々～	広大な中世の畠跡が見つかった長瀬高浜遺跡など、食糧生産跡が見つかる鳥取県。それらの発掘調査成果を踏まえ、意外にグルメな古代・中世の人々の食事について解説します。	中山	古代・中世
	古代から近世の交通について	人類は、馬や車、船や飛行機といった乗り物や道路や港といった施設をつくって陸地や海や河川、さらに大空を移動して、その活動範囲を広げてきました。それは当時の政治や軍事、経済といったものと深く結びついています。その歩みについて、県内の遺跡を中心にをご紹介します。	下江	古代～近世
	基礎から分かる県内中世城館 ～お城へGO!～	県内には約500のお城跡があります。しかし、その多くは身近にありながら、知られていません。そんな身近なお城を知るための基礎的な内容、そして、中世の合戦について解説します。	中山	中世
	戦国の知将 亀井茲矩	戦国時代末期～江戸時代初頭にかけて因幡国西半を治めた亀井茲矩は、新田開発や治水、朱印船貿易、鉱山開発など様々な事業を行った戦国大名として知られています。これらの事業の痕跡は今も残っており、それらを紹介しながら、亀井茲矩の実像に迫ります。	下江	中世・近世
	鳥取の民俗芸能	獅子舞、盆踊り、人形芝居、神楽、座敷芸など、今なお地域で大事に受け継がれている民俗芸能の魅力を映像や写真を用いて紹介します。	原島	江戸時代～現代
	鳥取の年中行事	春夏秋冬それぞれの季節ごとに行われている、鳥取の年中行事の歴史や分布、特徴について、そこに込められた人々の思いとともに紹介します。	原島	江戸時代～現代
	「文化財」な生きものたち ～鳥取県の天然記念物～	文化財といえば美術品やお城のイメージが強いですが、実は生き物も文化財の種類のひとつなんです！この講座では、オオサンショウウオやコウノトリといった鳥取県内に生息している文化財な生き物「天然記念物」の生態や希少性、保護の取り組みについてお話します。	陶澤	その他の文化財
	鳥取の未来をつくる「ふるさと教育」 地元歴史教材を活用した学習紹介	当県が教育の柱の一つとしている「ふるさと教育」の概要と地元歴史教材を活用した学習方法や学習事例について紹介します。	中山	その他の文化財

※体験活動（体験メニュー）については御相談ください。